



MC313SOT_(02)_

空気より軽い12A、13Aガス用

♡ OSAKA GAS

住宅用火災（煙式）・

ガス・CO警報器

家庭用

ぴこぴこ®

型番 (4)101-0801 型

取扱説明書 保証書付

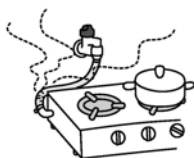
MC-313S 型

- 住宅用火災（煙式）・ガス・CO警報器「ぴこぴこ」をお取り付けいただきありがとうございました。
- この取扱説明書は住宅用火災（煙式）・ガス・CO警報器「ぴこぴこ」の取扱方法を説明します。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。
- 本取扱説明書は、末頁に保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。
- 本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。
- 本警報器は、火災による煙を感知して警報を発するものです。火災の発生を未然に防止する装置ではなく、また、火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は火災による煙を感知して、警報を発するものです。換気扇等により煙が吸引され、煙感知部に煙が到達しない場合は、火災警報機能が働きません。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガス検知部にガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が働きません。

警報器の機能について

■ ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。



《お断わり》

- ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が働きません。
- ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
ガスもれやCO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付場所近くでのガスもれやCO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスやCOには警報を発しないことがあります。

■ 火災警報機能

火災などにより、警報器周囲の煙が規定濃度以上になると、それを感知して警報を発します。



《お断わり》

- 換気扇などにより煙が吸引され、煙感知部の煙が規定濃度以上にならないときは、警報機能が働きません。
- 火災の発生を未然に防止する装置ではありません。
火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

もくじ

はじめに



安全上のご注意	6
対象ガス	10
各部のなまえとはたらき	12
警報器のお知らせ機能について	15
使用方法	22

警報器が作動したら



1 『ウーウーカンカンカン』 火災警報器が作動しました 火の元を確認してください』 と鳴り、約2分後『ウーウーカンカンカン』 火事です 火事です』 と鳴ったときの処置のしかた	23
2 メロディー音が鳴っているときの処置のしかた	25
3 『ウーウービッビッビッビッ』 ガスがもれていませんか』 と鳴ったときの処置のしかた	26
4 CO警報ランプ(黄)が点滅しているときの処置のしかた	28
5 『ウーウービッボッビッボッ』 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』 と鳴ったときの処置のしかた	29
6 『ウーウービッビッビッビッ』 ガスがもれていませんか』と 『ウーウービッボッビッボッ』 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』 が交互に鳴ったときの処置のしかた	31
7 異常がないのにメロディー音や警報音が鳴ったり、 ランプが点滅したときの処置のしかた	34
ランプ表示・音声出力の事象一覧表	38

取り扱いかた



お手入れのしかた	40
警報器の取り外し・取り付けかた	41
噴霧式殺虫剤を使用するときは	42
定期点検	45

その他



故障かな?と思ったら	47
アフターサービスについて	48
登録	49
廃棄について	50
仕様	52
取付位置の確認	54



安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠危険

誤った取り扱いをすると「**死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される**」内容を示します。

⚠警告

誤った取り扱いをすると「**死亡または重傷を負う可能性が想定される**」内容を示します。

⚠注意

誤った取り扱いをすると「**傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される**」内容を示します。

絵表示の内容



「必ず行う」事項を示しています。



「火気厳禁」事項を示しています。



「ぬれ手禁止」事項を示しています。



「水ぬれ禁止」事項を示しています。



「接触禁止」事項を示しています。



「分解禁止」事項を示しています。



「一般的な禁止」事項を示しています。

⚠危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。



必ず行う

ガス警報音が鳴っている部屋に
いるときは、すぐに換気をし、
使用中のガス機器を止め
てください。



火気厳禁

マッチやライターなど、火気を使
わないでください。



禁止

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気
製品のスイッチを入・切しな
いでください。



禁止

部屋の外にいるときは、すぐに
入室しないでください。





安全上のご注意

⚠ 危険

CO警報音もしくは火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。



必ず行う

CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。



必ず行う

火災警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。



禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。



⚠ 警告



必ず行う

常に電源が入っていること(電源表示が緑色)を確認してください。

電源が入っていないと火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。



必ず行う

設置後、3年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。

誤動作または正常に作動しない恐れがあります。有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。



必ず行う

噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P.42～44参照)

- 警報器を取り外し、ポリ袋などで覆う。
- 噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。誤作動の原因となります。



水ぬれ禁止

警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・発煙・発火の恐れがあります。



分解禁止

分解や改造はしないでください。故障の原因となります。



禁止

衝撃を与えないでください。故障の原因となります。



安全上のご注意

⚠ 警告



禁止

警報器を廃棄する時以外は、専用リチウム電池を取り外さないでください。

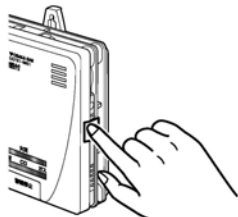
火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。



禁止

ガス検知部 (P.13を参照) は、絶対にふさがないようにください。

ガスもれまたはCOを検知しなくなります。



禁止

煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。

点検ガスにフロンガスが含まれている場合、ガスセンサの故障の原因となります。



対象ガス

⚠ 注意

- この警報器は火災 (火災等による煙)、都市ガス (空気より軽い12A・13Aガス) および燃焼排ガス中のCOを検知します。
- 都市ガス (空気より軽い12A・13Aガス) 供給区域外ではお使いにならないでください。

⚠ 注意



必ず行う

警報器の取り外し・取り付けを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。

転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。



禁止

取付位置を移動させないようにください。

警報の遅れの原因となります。

取付位置を変える必要が生じたときは、販売店にご相談ください。



禁止

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。

警報の遅れの原因となります。



禁止

警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。

ラジオなどにノイズ (雑音) が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。



禁止

この商品は検定合格品ですが、消防法で定められた自動火災報知設備には該当いたしませんので、それらの用途には使用できません。



各部のなまえとはたらき

●煙感知部

煙を感知します。

●有効期限ラベル

有効期限 20 年 月 日

●起動プラグ

プラグを押し込むと警報器の電源が入ります。電源表示が緑色になります。

●形式認証証票

●電源表示(緑・黒)

警報器の電源が入っているときは緑色、電源オフ時や電池切れ時は黒色を表示します。

●お知らせランプ(緑)

故障や電池切れしているときに点滅します。
※点滅時はP.18～21を参照ください。

●警報停止スイッチ

警報音を停止させたり、定期点検をするときに使用します。
※詳細はP.34・35、P.45・46を参照ください。

●警報スピーカー

ガス、COを検知、または火災による煙を感知すると、音声合成音が鳴ります。
ガス注意報が作動したときは、メロディー音が鳴ります。

●QRコード(隣)

●ガス警報ランプ(赤)

ガスを検知すると点滅します。
※点滅時はP.25～27を参照ください。

●火災警報ランプ(赤スライド)

火災による煙を感知すると点灯します。
※点灯時はP.23・24を参照ください。

●CO警報ランプ(黄)

COを検知すると点滅します。
※点滅時はP.28～30を参照ください。

●ガス検知部点検口

●ガス検知部

ガスおよびCOを検知します。

●製造番号シール

15・05-123456 ガス点検口↓

製造年月

製造番号

●定格表示

●引きひも引掛部

引きひもを使用するときに引っ掛けて使用します。



各部のなまえとはたらき

■ランプのつきかたについて

取扱説明書中のランプの点滅は次のように動作します。

早い点滅	1秒ごとに 2回点滅	
点滅	1秒ごとに 1回点滅	
ゆっくり 点滅	5秒ごとに 1回点滅	
故障点滅	10秒ごとに 3回点滅	
電池切れ 点滅	10秒ごとに 1回点滅	

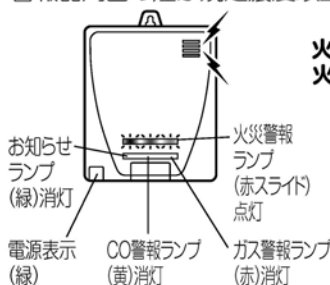


警報器のお知らせ機能について

■火災による煙が発生したときは

P.23・24参照

警報器周囲の煙が規定濃度以上になると作動します。



ウーウーカンカンカン
火災警報器が作動しました
火の元を確認してください

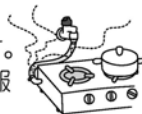
(約2分後)

ウーウーカンカンカン
火事です 火事です



■ガスがもれたときは

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報
が作動します。



注意報

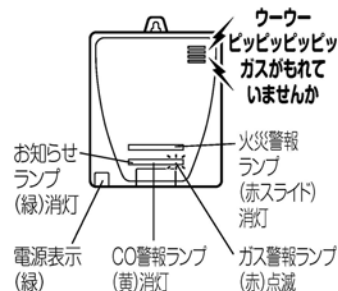
P.25参照

メロディー音が約10分ごとに
2回鳴る



警報

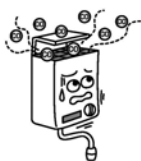
P.26・27参照





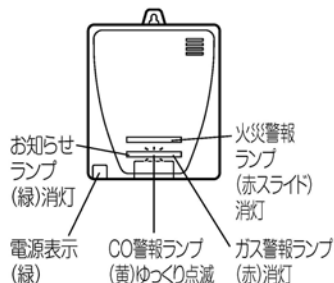
■ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。(低濃度が約5分間継続した場合も警報が作動します。)

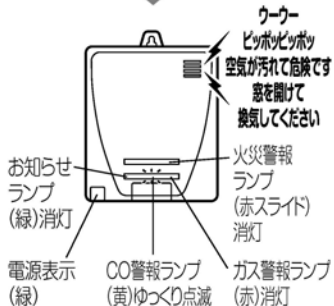


注意報

P.28参照

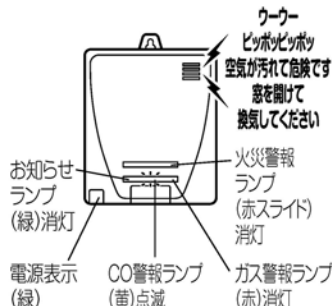


約5分後



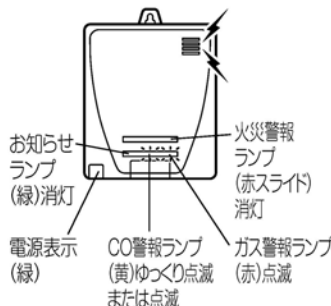
警報

P.29・30参照



■ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは P.31～33参照

警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。



ウーウービッポッビッポッ
ガスがもれていませんか

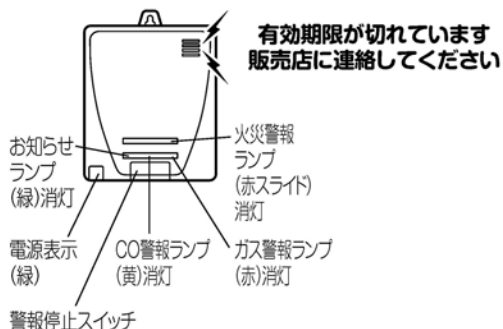
交互に鳴る

ウーウービッポッビッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

■有効期限が過ぎたときは

有効期限を半年以上過ぎて警報停止スイッチを押すと「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。

※販売店までご連絡ください。



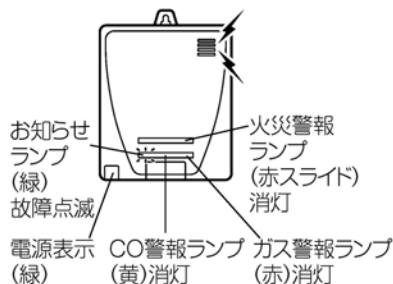


■故障しているときは

故障が発生すると、「**ピッピッピッ 故障です ピッピッピッ 故障です ピッピッピッ 故障です 販売店に連絡してください**」が1回鳴り、お知らせランプ(緑)が故障点滅します。

その後に「**ピッピッピッ**」と約1分ごとに繰り返し鳴り、約1時間ごとに「**ピッピッピッ 故障です ピッピッピッ 故障です ピッピッピッ 故障です 販売店に連絡してください**」が鳴ります。

それ以降も同じ警報を繰り返します。



**ピッピッピッ 故障です
ピッピッピッ 故障です
ピッピッピッ 故障です
販売店に連絡してください**

その後、約1分ごとに

ピッピッピッ

約1時間ごとに

**ピッピッピッ 故障です
ピッピッピッ 故障です
ピッピッピッ 故障です
販売店に連絡してください**

ただし、警報停止スイッチを押すと、「**ピッピッピッ 故障です 販売店に連絡してください**」が1回鳴り、以降警報音は約36時間停止します。

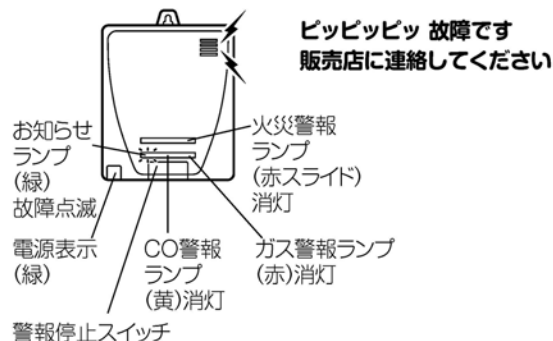
お知らせランプ(緑)の故障点滅は止まりません。

※販売店までご連絡ください。

※煙やガスおよびCOを検知した場合は、警報が可能であれば警報音を発します。

※約36時間の停止中に警報停止スイッチを押すと、故障の音声を発しますが、約36時間の一時停止の状態はリセットされません。

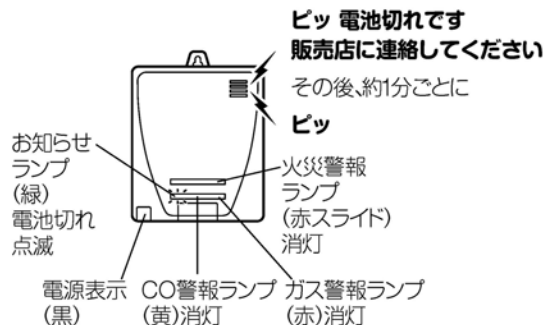
※約36時間を経過すると、再度故障警報音が鳴ります。





■電池切れのときは

電池切れが発生すると、「**ピッ 電池切れです 販売店に連絡してください**」が1回鳴り、お知らせランプ(緑)が電池切れ点滅します。その後に「**ピッ**」と約1分ごとに繰り返し鳴ります。



ただし、警報停止スイッチを押すと、「**ピッ 電池切れです 販売店に連絡してください**」が1回鳴り、以降警報音は約36時間停止します。

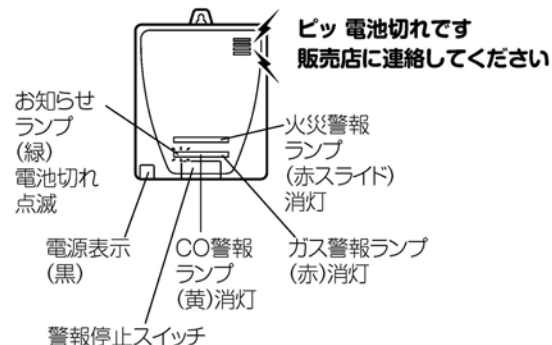
お知らせランプ(緑)の電池切れ点滅は止まりません。

※販売店までご連絡ください。

※煙やガスおよびCOを検知した場合は、警報が可能であれば警報音を発します。

※ 約36時間の停止中に警報停止スイッチを押すと、電池切れの音声を発しますが、約36時間の一時停止の状態はリセットされません。

※ 約36時間を経過すると、再度「**ピッ**」音が鳴ります。

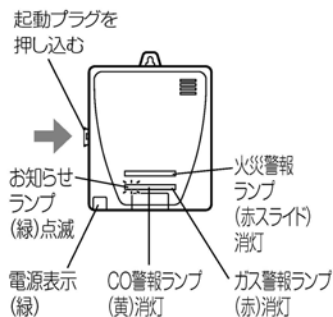




使用方法

1 起動プラグを押し込む。

電源表示が黒から緑に変わり、お知らせランプ(緑)が点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。

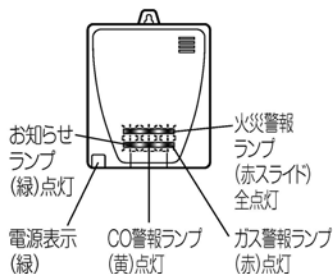


2 電源が入ってから約1分後、ランプが全点灯した後、全消灯します。

〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉

最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、1秒間点灯、点滅します。

(鳴動原因表示機能によるものです。)



3 「正常です」と鳴って監視状態に入ります。

〈警報器が故障している場合〉

「正常です」とは鳴らずに、P.18・19に記載している故障発生時の動作となります。

※販売店に連絡してください。



1 『ウーウーカンカンカン 火災警報器が作動しました 火の元を確認してください』と鳴り、約2分後『ウーウーカンカンカン 火事です 火事です』と鳴ったときの処置のしかた
【火災警報ランプ(赤スライド)が点灯】〈火災警報〉

△危険

消火が不可能なときは、避難する。



《お断わり》

- 火災以外の煙などで火災警報を発している場合でも、ガス警報ランプ(赤)およびCO警報ランプ(黄)の点滅の有無を確認してください。
- ※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガス警報およびCO警報は発しません。
- ガス警報ランプ(赤)およびCO警報ランプ(黄)が点滅している場合は、P.25～30の処置を行ってください。

〈火災以外の煙などで火災警報を発しているとき〉

P.35の処置を行ってください。

1 火元の確認をする。



2 必要な手段をとる。

119番への通報

119

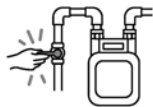


初期消火



天ぷら油から炎が出ているときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

メーターガス栓をあけるときは大阪ガスにご連絡ください。



警報器周囲の煙が規定濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、火災警報ランプ(赤スライド)が消灯します。



2 メロディー音が鳴っているときの 処置のしかた

【ガス警報ランプ(赤)がゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅)】
〈ガス注意報〉

1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、ガス警報ランプ(赤)は消灯し、メロディー音は鳴りやみます。



2 原因を確認する。

ガス濃度がうすい場合にゆっくり点滅します。

室内の空気の汚れにも反応することがあります。

(P.34参照)



3 『ウーウービッビッビッ ガスがもれていませんが』 と鳴ったときの処置のしかた

【ガス警報ランプ(赤)が点滅(1秒ごとに1回点滅)】〈ガス警報〉

警報音が鳴っている部屋にいるときは

⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。



マッチやライターなど、
火気を使わない。



換気扇、電灯、蛍光灯など、
電気製品のスイッチを入・
切しない。



1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセン
トからソケットをはずしてください。



3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。 【ガス警報ランプ(赤)消灯】



4 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外
れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消え
などが考えられます。



部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠危険

警報音が鳴っている間は、部屋の
外から、すぐに入室しない。
爆発の恐れがあります。



1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときはドアや
窓を開けて換気する。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。 メーターガス栓をあけるときは大阪ガスに ご連絡ください。



3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、ガス警報ランプ(赤)の消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコン
セントからソケットをはずしてくだ
さい。



6 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴ
ム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考
えられます。



処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

たびたび警報音が鳴るとき
は、ガス機器の点検を受け
てください。(有償)

最寄りの大阪ガスへ
連絡する。

大阪ガス





4 CO警報ランプ(黄)

がゆっくり点滅しているときの処置のしかた
【CO警報ランプ(黄)がゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅)】
〈CO注意報〉

《お断わり》

CO警報ランプ(黄)のゆっくり点滅が約5分間継続すると、「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と鳴りはじめます。

1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気続けると、CO警報ランプ(黄)は消灯します。



2 原因を確認する。

CO濃度がうすい場合にゆっくり点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。
(P.34参照)



5 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた

【CO警報ランプ(黄)がゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅)、または点滅(1秒ごとに1回点滅)】

〈CO警報〉

警報音が鳴っている部屋にいるときは

⚠危険

警報音が鳴ったら、すぐに換気し、使用中のガス機器を止める。
CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。

1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。



3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。 【CO警報ランプ(黄)消灯】



部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠危険

警報音が鳴っている間は、部屋の外から、すぐに入室しない。
CO濃度が濃くなっていることがあり、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。



1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



2 ガスメーター近くのマーターガス栓を閉める。

メーターガス栓をあけるときは大阪ガスにご連絡ください。



3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、CO警報ランプ(黄)の消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。



処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

最寄りの大阪ガスへ
連絡する。

大阪ガス



6 『ウーウービッビッビッ ビッ』 ガスがもれて
いませんか』と『ウーウービッポッビッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください』
が交互に鳴ったときの処置のしかた

【ガス警報ランプ(赤)が点滅(1秒ごとに1回点滅)、
CO警報ランプ(黄)が ゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅)、
または点滅(1秒ごとに1回点滅)】

〈ガス警報とCO警報の同時警報〉

警報音が鳴っている部屋にいるときは

⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発やCO中毒の恐れがあります。



マッチやライターなど、
火気を使わない。

火気厳禁



換気扇、電灯、蛍光灯など、
電気製品のスイッチを入・
切しない。



1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。



- 3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。**
[ガス警報ランプ(赤)・CO警報ランプ(黄)消灯]



- 4 ガスもれやCO発生の原因を点検する。**
 原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠危険

警報音が鳴っている間は、部屋の外から、すぐに入室しない。
 爆発やCO中毒の恐れがあります。



- 1 部屋に入らない。**
 室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



- 2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。**
 メーターガス栓をあけるときは大阪ガスにご連絡ください。



- 3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。**

- 4 部屋に入り、ガス警報ランプ(赤)・CO警報ランプ(黄)の消灯を確認する。**

- 5 ガス栓や器具栓を閉める。**
 ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。



- 6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。**
 原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

最寄りの大阪ガスへ
 連絡する。

大阪ガス





7

異常がないのに メロディー音や警報音が鳴ったり、 ランプが点滅した ときの処置のしかた

ガスやCO以外の空気の汚れて、ガス警報ランプ（赤）やCO警報ランプ（黄）が点滅したり、メロディー音や警報音が鳴ったときは

1 ドアや窓を開け、しばらく換気続ける。



2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まる。

〈メロディー音や警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押すと、

- ガス注意報のメロディー音は約36時間止めることができ、ガス警報の警報音は約5分間止めることができます。
 - CO警報は、CO警報ランプ（黄）がゆっくり点滅（5秒ごとに1回点滅）し、CO警報音が鳴っている場合のみ、警報音を1回だけ約5分間止めることができます。
- ※ 警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再びメロディー音または警報音を発します。

火災以外の煙で火災警報音が鳴ったときは

1 ドアや窓を開け、しばらく換気続ける。



2 警報器周囲の煙が規定濃度以下になると、警報音が鳴りやむ。

〈火災警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押してください。警報音が止まります。

- 火災警報音を約5分間止めることができます。
- ※ 警報器周囲の煙が規定濃度以下になっていない場合は、約5分後に再び火災警報を発します。約5分後に再警報してもスイッチを再度押すことで警報音を止めることができます。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間閉めきられたお部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサーの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分（シリコンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス[エアコンの冷媒ガスなど]）の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。

また、まれに鳴り続けることがあります。

- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

〈ガス警報・CO警報〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤・香油（アロマオイル）などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。



- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋（業務用）で湯を沸かしていませんか。点火初期時にCOが発生し、CO警報を発することがあります。

〈火災警報〉

- 湯気が直接かかっていませんか。
- タバコ・焼き魚・線香などの煙を警報器にかけていませんか。
- くん煙式、くん蒸式の殺虫剤が直接かかっていませんか。

おねがい

ガスもれやCO発生ではなく、空気の流れなどにより、ガス警報ランプ（赤）・CO警報ランプ（黄）が点滅したり、メロディー音や警報音声が届く場合がありますが、すぐに鳴りやみますので、ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。



ランプ表示・音声出力の事象一覧表

電源表示	ランプ				音声内容	事象	対応方法
	緑 (お知らせ)	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)	赤スライド (火災警報)			
緑	○	○	○	○	なし	通常動作 (監視中)	—
緑	○	○	◎	○	メロディー (約10分ごとに2回)	ガス注意報	P.25 参照
緑	○	○	●	○	ガス警報音声 「ウーウービッピ ビッピ ガスがも れていませんか」	ガス警報	P.26・27 参照
緑	○	◎	○	○	なし	CO注意報	P.28参照
緑	○	または ●	○	○	CO警報音声 「ウーウービッポ ビッポ 空気が汚 れて危険です 窓を開 けて換気してください」	CO警報	P.29・30 参照
緑	○	◎	◎	○	メロディー (約10分ごとに2回)	ガス注意報と CO注意報	P.25・28 参照
緑	○	または ●	◎	○	CO警報音声 「ウーウービッポ ビッポ 空気が汚 れて危険です 窓を開 けて換気してください」	CO警報と ガス注意報	P.25、 29・30 参照
緑	○	◎	●	○	ガス警報音声 「ウーウービッピ ビッピ ガスがも れていませんか」	ガス警報と CO注意報	P.26・27、 28 参照
緑	○	または ●	●	○	ガス警報音声 「ウーウービッピ ビッピ ガスがも れていませんか」と、 CO警報音声 「ウーウービッポ ビッポ 空気が汚 れて危険です 窓を開 けて換気してく ださい」を交互音声	ガス警報と CO警報	P.31～33 参照

電源表示	ランプ				音声内容	事象	対応方法
	緑 (お知らせ)	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)	赤スライド (火災警報)			
緑	3回 /10秒 点滅	○	○	○	故障警報音声 「ビッピッピッ 故障です ビッピッピッ 故障です ビッピッピッ 故障です 販売店に連絡してく ださい」(約1時間ごと) 「ビッピッピ」 (約1分ごと)	故障警報 (警報器が故障 診断機能で故 障と判断した 状態)	販売店に 連絡して ください
緑	○	○	○	○	有効期限切れ音声 「有効期限が切れて います 販売店に連 絡してください」 ※ 警報停止スイッ チを押した場合	有効期限切れ (警報器の有効 期限が半年以 上過ぎた状態)	販売店に 連絡して ください
黒	1回 /10秒 点滅	○	○	○	電池切れ警告音声 「ビッ 電池切れで す 販売店に連絡し てください」 「ビッ」(約1分ごと)	電池切れ	販売店に 連絡して ください
緑	○	○	○	●	火災警報音声 「ウーウー カンカン カン 火災警報器が 作動しました 火の 元を確認してく ださい」 約2分後の音声 「ウーウー カンカ ン 火事です 火事 です」	火災警報	P.23・24 参照
緑	○	○	◎	●		火災警報と ガス注意報	
緑	○	○	●	●		火災警報と ガス警報	
緑	○	または ●	○	●		火災警報と CO注意報 または警報	
緑	○	または ●	◎	●		火災警報・ ガス注意報・ CO注意報 または警報	
緑	○	または ●	●	●		火災警報・ ガス警報・ CO注意報 または警報	

●：点滅(1秒ごとに1回) ◎：ゆっくり点滅(5秒ごとに1回) ○：消灯

※：故障したときは、上記以外の警報音を発する場合があります。

この場合、販売店にご連絡ください。



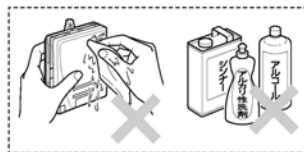
お手入れのしかた

1 警報器を取り外す。

(P.41参照)

2 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取る。

布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからふき取ってください。



おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらくガス警報ランプ(赤)が点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

3 警報器を取り付ける。

(P.41参照)

4 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認する。

(P.45参照)



警報器の取り外し・取り付けかた

■ 木ねじの場合

〈取り外しかた〉

1 木ねじをゆるめて警報器を取り外す。



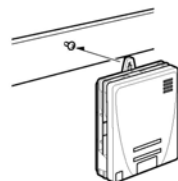
〈注意〉

壁掛型警報器は、強く引っ張ると取り付けられている木ねじが抜けたら、木ねじから警報器が外れたりして、落下する恐れがあります。

〈取り付けかた〉

1 警報器を木ねじに引っ掛ける。

2 木ねじを締め付けて固定する。



〈確認〉

警報器が確実に固定されていることを確認してください。

■ 取付フックの場合

〈取り外しかた〉

本体を持ち上げて取り外す。



〈取り付けかた〉

警報器を取付フックに引っ掛ける。



〈確認〉

警報器が確実に固定されていることを確認してください。



噴霧式殺虫剤を使用するときは

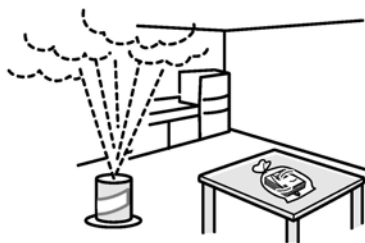
噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

⚠警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋から取り出してください。警報器が作動しません。

⚠注意

警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業となりますので、しっかりした踏み台を使って、十分注意して行ってください。転落、転倒、落下の原因になります。

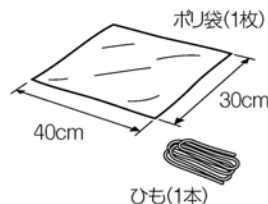


1 警報器をポリ袋の中に入れる

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に次の処置をしてください。

〈準備するもの〉

- ポリ袋(30cm×40cm・1枚)
ポリプロピレン製(PP)または
>PP<表示)
- ※ ポリエチレン製でも一定の効果が
あります。
- ひも(1本)



〈処置のしかた〉

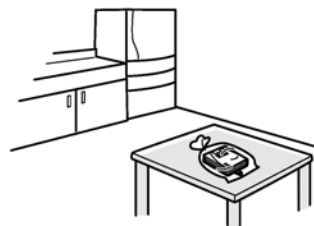
- ① 警報器を取り外してください。
(P.41参照)



- ② 警報器をポリ袋の中に入れ、袋の
口をひもで縛ってください。



- ③ ポリ袋を傷めないように、警報器
を安定するところに置いてくだ
さい。





噴霧式殺虫剤を使用するときは

2 噴霧式殺虫剤を噴霧する。

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。

噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- 部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。

必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。

- 噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。

警報器の真下は避けてください。

- ポリ袋に破れや穴があるとき。

- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。

ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。

- 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。



3 ポリ袋から取り出す。

噴霧が終わったら、ポリ袋から取り出し、警報器を元の位置に取り付けてください。



定期点検

重要

定期点検は警報器の維持管理上必要なことです。正常に動作することを確認するために、必ず実施してください。

日常点検

日常、警報器の電源表示が緑色になっていることと、お知らせランプ(緑)が消灯していることを確認してください。

※ 電源表示が黒色であったり、お知らせランプ(緑)が点滅している場合は、販売店に連絡してください。(P.47「故障かな?と思ったら」を参照ください)



定期点検

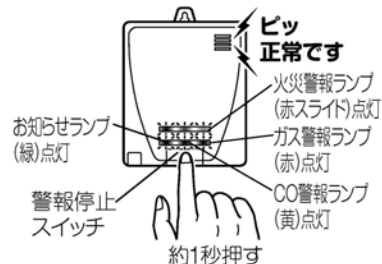
警報器が正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度、定期点検を行ってください。

(1週間以上留守にされた場合も点検を行ってください。留守中の電池切れ警報を、確認できない恐れがあります。)

- ① 警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。

- ② 警報停止スイッチを押す(約1秒)、または引きひもを引く(約1秒)。(お知らせランプ(緑)が早い点滅開始)

- ③ 全ランプが1秒間点灯し、「ビッ正常です」が1回鳴れば正常です。



〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉

全ランプ点灯後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、1秒間点灯、点滅します。

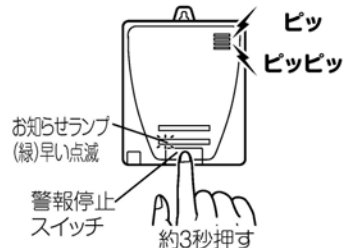
(鳴動原因表示機能によるものです)



定期点検

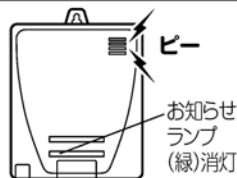
警報音確認

- ① 警報停止スイッチを約3秒間押す、または引きひもを約3秒間引くと、「ビッ」音の後「ビッビッ」と開始音が鳴ります。(お知らせランプ(緑)が早い点滅開始)
- ② 警報停止スイッチまたは引きひもから手を離すと以下のように動作します。



動作順	音声内容	ランプ			
		緑 (お知らせ)	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)	赤スライド (火災警報)
1	ウーウー カンカンカン 火事です 火事です	早い点滅	—	—	点灯
2	ウーウービッビッビッビッ ガスがもれていませんか	早い点滅	—	点滅	—
3	ウーウービッポッビッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	早い点滅	点滅	—	—

- ③ 「ピー」と終了音が鳴り、監視状態(お知らせランプ(緑)消灯)に戻ります。
※ 音声警報中に本機能を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すまたは引きひもを引くと、「ピー」と鳴り、終了します。



⚠警告

- 点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検するときは、必ず安定した台に乗ってください。転倒してけがをする恐れがあります。



故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
電源表示が黒色になっている。 (正常動作時は緑色)	起動プラグの位置を確認してください。	起動プラグを押し込んでください。(P.22参照) 電源表示が黒色のままの場合、販売店に連絡してください。
お知らせランプ(緑)が点滅している。	10秒ごとに3回点滅 警報器の故障を知らせています。 10秒ごとに1回点滅 警報器の電池切れを知らせています。	販売店に連絡してください。 販売店に連絡してください。
火災、ガスもれ、COの発生がないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。 (P.34～37 参照) ガス機器の異常が考えられます。 ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	ドアや窓を開け、しばらく換気をしてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。鳴り止まない場合は、最寄りの大阪ガスへ連絡してください。 ガス機器の点検を受けてください。(有償) それらの機器も点検を受けてください。
警報停止スイッチを押したときに、赤ランプや黄ランプ、緑ランプが長く点灯、点滅する。	約10日以内に警報を発していませんか。	鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P.45参照)
警報停止スイッチを押したときに「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」と鳴る。	警報器の有効期限ラベルに記載の有効期限が切れていませんか。	有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。(P.17参照)



アフターサービスについて

- この警報器は、3年間の無償保証付です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。ただし、保証書裏面「5」の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
- この警報器の有効期限は、ご使用開始後3年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、3年を経過したものは、規定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
- 「リース契約書」もしくは「警報器登録票」に販売店（リース取扱店）名の記入のないものは保証内容が無効となることがありますので、お取り付け時にご確認ください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がございましたら、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
- 警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
- 引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。



登録

この警報器は、コンピューターに登録して管理させていただきます。登録は、取り付け時もしくは開栓時に行い、登録済みの警報器の有効期限ラベルには有効期限が記入されていますので、ご確認ください。

また、有効期限の記入のないラベルは未登録の場合がありますので、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

（保証書と有効期限ラベルの期日が異なる場合は、有効期限ラベルの期日が、この警報器の有効期限です。）

有効期限の約1か月前に、登録されているものについては、当社よりお知らせします。有効期限を過ぎた場合は、新しいものとお取り替えください。



〈リース契約の警報器の廃棄〉

有効期限が過ぎた警報器は、販売店(リース取扱店)にて回収いたします。

〈お買い上げいただいた警報器の廃棄〉

● 販売店(リース取扱店)に、廃棄を依頼される場合

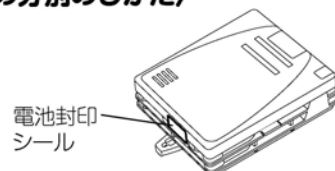
販売店(リース取扱店)の店頭で回収しています。
お近くの販売店(リース取扱店)にお持ち込みください。

● お客さまで廃棄される場合

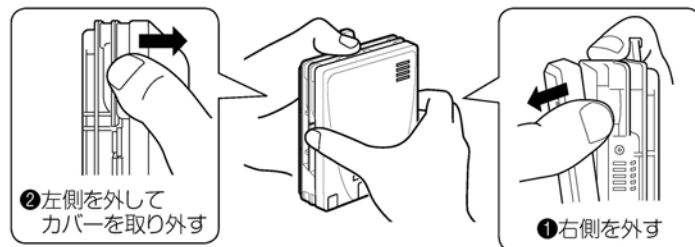
お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。
*必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。
(分別方法については次頁参照。)

〈警報器と専用リチウム電池の分別のしかた〉

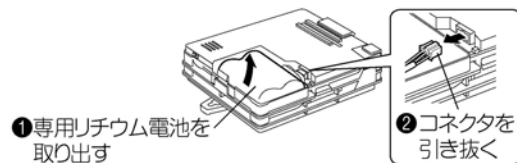
① 電池封印シールを剥がす。



② 表カバーを押し上げて、表カバーを取り外す。



③ 専用リチウム電池を取り出し、コネクタを引き抜く。



⚠ 警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。

リチウム電池の廃棄方法を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあります。また、ケガをしたり、火災の原因になります。



仕様

項 目		仕 様		
火災警報機能	種 別	光電式住宅用防災警報器		
	型 式 番 号	住警第 27 ～ 2号		
	検 知 原 理	煙感知方式(光電式)		
	感 知 性 能	2種		
	住宅用防災警報器 検定合格品			
ガス警報機能・CO警報機能	対 象 ガ ス	都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス用) 燃焼排ガス中のCO		
	都市ガス	検 知 方 式	半導体式	
		ガ ス 警 報	作 条 動 件	*爆発下限界濃度の1/4の都市ガスに対し60 秒以内に警報
			表 示・ 発 報 方 式	ガス警報ランプ(赤)点滅(1秒ごとに1回点滅) 音声合成警報音
		ガ ス 注 意 報	作 条 動 件	ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報
			表 示・ 発 報 方 式	ガス警報ランプ(赤)ゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅) メロディー音
		燃焼排ガス中のCO	検 知 方 式	電気化学式
	CO警報		作 条 動 件	550ppm のCO に対し5 分以内に警報 300ppm のCO に対し10 分以内に警報
			表 示・ 発 報 方 式	CO警報ランプ(黄)点滅(1秒ごとに1回点滅) またはゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅) 音声合成警報音
	CO注意報		作 条 動 件	300ppm のCOに対し5 分以内に注意報
			表 示・ 発 報 方 式	CO警報ランプ(黄)ゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅) 発報音無し
	一般財団法人 日本ガス機器検査協会(JIA) 都市ガス用電池式ガス警報器検査規格 認証合格品			

項 目		仕 様
共通仕様	警 報 音 量	70dB(A)/m以上
	電 源	DC3V、300mA 専用リチウム電池 CR-AGCF2DK
	付 属 機 能	通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能
	使用温度範囲	0℃～+40℃(結露しないこと)
	寸 法 ・ 質 量	幅85×高さ100×奥行き30mm(突起部を除く)、 約175g
付 属 品	取付フック 1個、 ピン(φ1×20mm) 3本、 木ねじ(φ3.1×16mm) 1本、 引きひも(点検ツマミ付) 1本、 取扱説明書(保証書付)〔本書〕 1冊、 取付説明書 1部、リースシール 1枚	

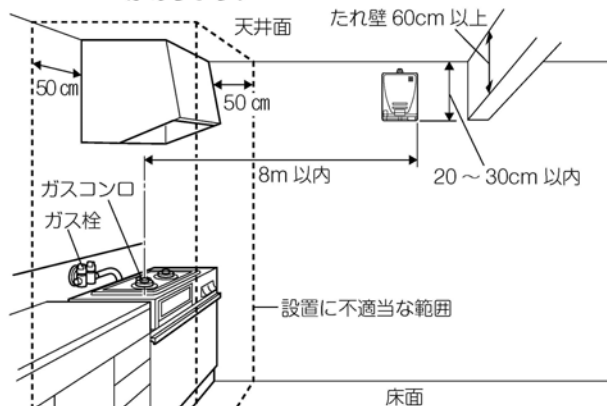
* 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。



⚠注意

取付例

※天井面に接近して取り付けると、天井面が黒ずむ場合があります。

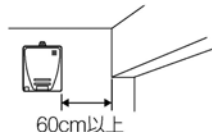


※警報器の取り付けや取付位置の移動は、販売店におまかせください。

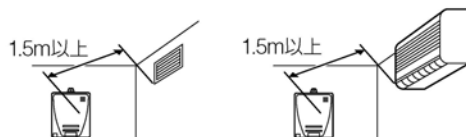
〈正しい取付場所について〉

- ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスやCOが滞留しやすい位置で、電源表示(緑)が確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓) から、水平距離で8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が20～30cm以内の位置に取り付けてください。

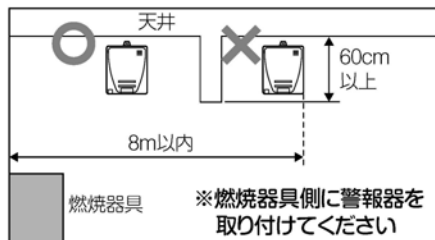
- たれ壁やはりから60cm以上離してください。



- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。



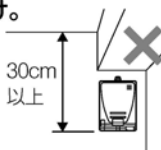
- 天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



〈取り付けてはいけない場所について〉

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

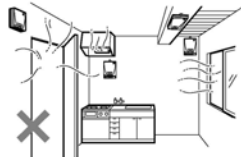
- レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。
アルコール等で警報することがあります。
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- すき間風の入る場所。
- 30cm以上(警報器含)のたれ壁などの下。





取付位置の確認

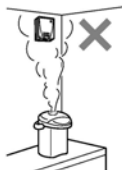
- たれ壁60cm以上で区切られている場所。
- エアコンなどの吹出口に近い場所。
警報が遅れたり、検知できないことがあります。



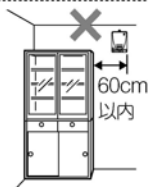
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。
センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所。



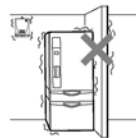
- 食器棚などから60cm以内の場所。



- カーテンウォールなどで仕切られた場所。
警報が遅れます。



- 振動、衝撃の激しい場所。
センサの故障の原因になります。



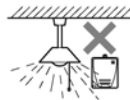
- 浴室、水のかかる場所、水滴のつく場所。
電氣的故障の原因になります。



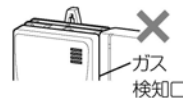
- 温度が0 ~ +40℃の範囲をこえる場所。
警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。



- 照明器具の近く。
(可能な限り離す)



- ガス検知口に他の機器などを密着させないでください。
警報が遅れることがあります。



- 業務用・工業用。
家庭用です。業務用・工業用ではありません。

- 屋外。
屋外用ではありません。

空気より軽い12A、13Aガス用

OSAKA GAS

住宅用火災(煙式)・
ガス・CO警報器

家庭用

ぴよぴよ®

型番 (4) 101-0801 型

取付説明書【施工される方へ】

お客様にこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、この取付説明書をよくお読みいただき、指定された取り付けを行ってください。



1 お願いとご注意

警報器を正しく設置していただくため、また、あなたやお客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取付説明書には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

2 施工される方へのお願い

- 取付終了後に取付説明書に従って「6-1 自動初期点検機能の確認」、および必要に応じて「6-2 作動点検」を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。
- 必要に応じて、「3-1 警報器の説明」「3-2 お客様への周知事項」についてお客様に説明を行い、ご理解を得てください。
- 警報器を梱包から出された状態で持ち運びまたは保管しないでください。

△ 注意

警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。
故障や誤作動の原因になります。

3 お客様への説明について

3-1 警報器の説明

- ① 警報動作および自動初期点検機能の結果の説明。
作動点検をした場合は、作動点検の結果の説明。
- ② 取扱説明書を必ず読んでいただくこと、取扱説明書を「警報器登録票」または「リース契約書」とともに保管していただくことをお願い。
- ③ 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
1. 火災警報の内容（火災警報ランプ（赤スライド）点灯、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
2. ガス警報の内容（ガス警報ランプ（赤）点滅、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
3. CO警報の内容（CO警報ランプ（黄）点滅、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
4. ガス警報、CO警報の同時警報の内容（ガス警報ランプ（赤）とCO警報ランプ（黄）の点滅、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
5. 部屋の外にいて、ガス警報、CO警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
6. 電池切れ警報、故障警報の内容と処置の説明。
7. 誤報が発生する原因と処置の説明。
8. スイッチ操作の説明。
● 定期点検
● 有効期限切れ音声機能
● 警報音停止

3-2 お客様への周知事項

- ① 保証期間 3 年。
- ② 警報器の有効期限のお知らせ。（本体に貼付の有効期限ラベルに表示）
- ③ 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ④ 警報器の移設禁止。（移設依頼時の連絡先）
- ⑤ 警報器の分解禁止。
- ⑥ 引越時の処置。
- ⑦ 故障・異常時の連絡先。
- ⑧ リースの場合、本人または配偶者に契約書の記入をしてもらい、決して子供に記入させないこと。
- ⑨ リース契約の内容および解約時の措置。

4 取り付け前の確認

4-1 警報器の確認

取り付ける警報器が空気より軽い 12A・13A ガス用であり、本体に異常のないことを確認してください。

4-2 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

本体…1 個	
取扱説明書（保証書付）…1 冊	
取付説明書（本書）…1 部	
取付フック…1 個	ピン 長さ 20mm…3 本
木ねじ 長さ 16mm…1 本	引きひも（点検ツマミ付）…1 本

4-3 取付位置の確認

設置場所の選定については、お客様とよく相談して決めてください。

△ 注意

正しい取付位置に取り付けてください。
取り付けがはけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

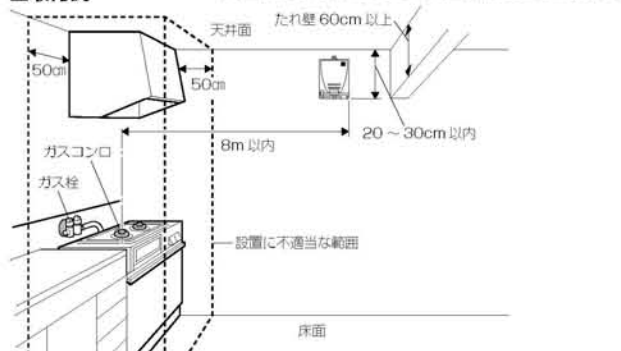
正しい取付場所について

- ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスやCOが滞留しやすい位置で、電源表示（緑色）の確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓）から、水平距離で 8 m以内、警報器の底面から天井面までの距離が 20 ～ 30cm 以内に取り付けてください。
- 換気口など、空気の吹出口から 1.5 m以上離してください。

- たれ壁やはりから 60cm 以上離してください。

- 天井面が 60cm 以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。

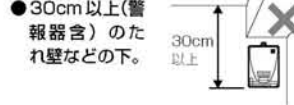
■取付例



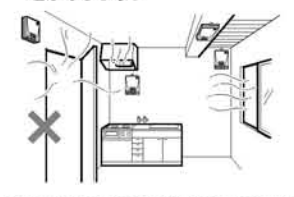
取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。

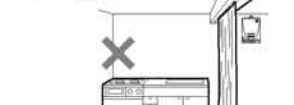
- レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。
アルコール等で警報することがあります。
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- すき間風の入る場所。
- 30cm 以上（警報器含）のたれ壁などの下。



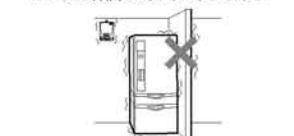
- たれ壁 60cm 以上で区切られている場所。
- エアコンなどの吹出口に近い場所。
警報が遅れたり、検知できないことがあります。



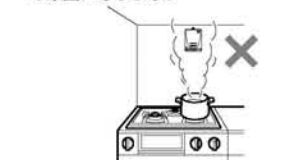
- カーテンウォールなどで仕切られた場所。
警報が遅れます。



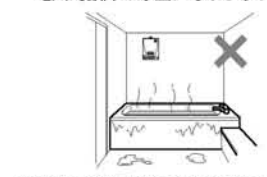
- 振動、衝撃の激しい場所。
センサの故障の原因になります。



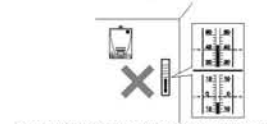
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。
センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



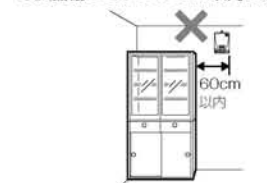
- 浴室内、水のかかる場所、水滴のつく場所。
電氣的故障の原因になります。



- 温度が 0 ～ +40 ° C の範囲をこえる場所。
警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。



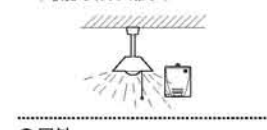
- 食器棚などから 60cm 以内の場所。



- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所。



- 照明器具の近く。
（可能な限り離す）



- 屋外。
屋外用ではありません。

- 業務用・工業用。
家庭用です。業務用・工業用ではありません。

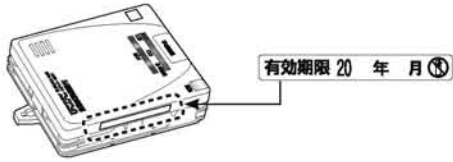
- ガス検知口に他の機器などを密着させないでください。
警報が遅れることがあります。



5 取り付けかた

5-1 有効期限の記入

この警報器の有効期限は、取り付け後3年間です。必ず、警報器本体に貼ってある「有効期限ラベル」に、有効期限の年月を記入してください。



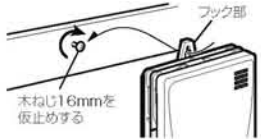
5-2 警報器本体の取り付け

△注意

- 取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けしないでください。
- 警報器の取付時に、警報器を落とさないように注意してください。センサの断線など、正常に作動しない恐れがあります。
- 本体内部にある煙感知部に触れないように作業してください。センサの破壊など、正常に作動しない恐れがあります。

■木ねじで取り付ける場合

- ① 木ねじ（16mm）を途中までねじ込み仮止める。
※ コンクリート壁・石膏ボード壁の場合は、市販のカルプラグを打ち込んで木ねじを使用してください。
- ② 仮止めた木ねじに、本体のフック部を引っかける。



- ③ 木ねじを締め付け、本体を固定する。

■取付フックで取り付ける場合（石膏ボード壁専用）

△注意

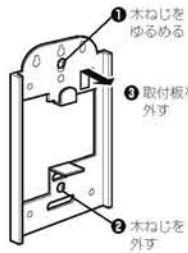
- ピンを指に刺さないように、取り扱いには十分注意してください。
- 取付強度を保持するため、ピンは根元まで確実に打ち込んでください。
- 万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを付け直してください。

- ① 取付フックの取り付け位置を決めて、位置決めピンを垂直に打ち込む。
- ② 警報器のフック部を、取付フックに引っ掛け、警報器本体が垂直になるように調整する。
- ③ 取付フックに固定ピン（左右2箇所）を斜めに打ち込んで固定する。

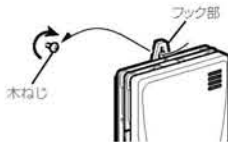


■既存の取付板から取り付ける場合

- ① 上側の木ねじを5mm程度ゆるめる。
完全には外さないでください。
- ② 下側の木ねじを取り外す。
- ③ 取付板を取り外す。



- ④ 警報器のフック部を上側の木ねじに引っかけて、木ねじを締め付け、警報器を固定する。

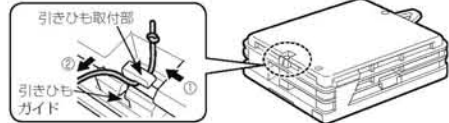


5-3 引きひもの取り付けと調整

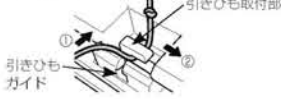
引きひもをご使用になる場合は、設置場所などお客さまのご要望をお聞きして、長さの確認をしてから取り付けてください。

■取り付けかた・取り外しかた・調整

- 図のように引きひも取付部に引きひもを通して、矢印の方向に引きひもガイドに収めて引く。

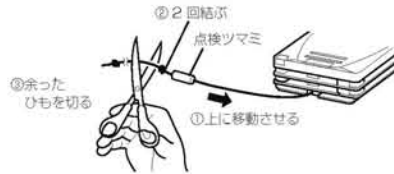


- 取り外すときは、引きひもガイドから引きひもを外し、矢印方向に引く。



●引きひもの調整

- ① 点検ツマミを上に移動させる。
- ② 適当な長さとなる部分で2回結ぶ。
- ③ 点検ツマミの先の余ったひもを切る。



6 取り付け後の確認・点検

この警報器は、通電開始後の約1分間でセンサを含めた内部回路が正常であることを確認する自動初期点検機能を有しています。製造から取付までが1年以内の警報器（警報器の製造番号シールに記載の製造年月から取付年月までが1年後の同月まで）で以下の条件を満たす場合は、「6-2 作動点検」は不要です。「6-1 自動初期点検機能の確認」のみを行ってください。ただし、お客さまから要望があった場合は、「6-2 作動点検」を行ってください。

- 新規取付時（未入居の新築住宅を含む）
- 更新時

以下の場合、「6-2 作動点検」が必要です。「6-1 自動初期点検機能の確認」の後に「6-2 作動点検」を行ってください。

- 製造から取付までが1年を超えた警報器

6-1 自動初期点検機能の確認

起動プラグを押し込む。
電源表示が黒から緑に変わり、お知らせランプ（緑）が点滅し、約1分後にランプが全点灯した後、正常であれば、「正常です」と鳴って、警報器は監視状態に入ります。万一、異常があれば、「ビッピッピッ 故障です ビッピッピッ 故障です ビッピッピッ 故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。
※ ガス警報ランプ（赤）が点滅することがありますが、しばらくすると消灯します。



・お知らせランプ（緑）が点滅中は作動点検を実施しないでください。

6-2 作動点検

おねがい

この警報器は作動点検をスムーズに行うため、監視状態に移行後約3分間（起動プラグを押し込んでから約4分間）に限り、採取ガスに対して反応しやすい状態が保持されます。必ずその間に作動点検を行ってください。ただし、通電開始後のお知らせランプ（緑）が点滅をしている間（約1分間）は、ガスをかけてもセンサが反応せず、警報を発しないため、作動点検を行わないでください。上記時間を過ぎると、採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されます。その場合は警報停止スイッチを約6秒間押し、「ビッピッピッ」音が鳴ってから手を離し、再度電源投入を行ってください。

また、上記時間内であっても一度作動点検を行うと採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されますので、ご注意ください。通電開始後のお知らせランプ（緑）が点滅している間や消灯に変わる際に火災警報機能の点検を行った場合、約1分経過しても「正常です」が鳴らず、点検ガスに対して反応しやすい状態に移行しない場合があります。

〈準備するもの〉

- 点検ガス採取器（別売品）
- ガスライター
- 上記2点または、
- 火災・CO・ガスもれ警報点検治具（別売品：TTO-11）

△注意

- アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス（生ガス）は、使用しないでください。センサ異常またはセンサ故障の原因になったり、警報状態からの復帰に大変時間がかかることがあります。

〈点検ガス採取器を用いて点検する場合〉

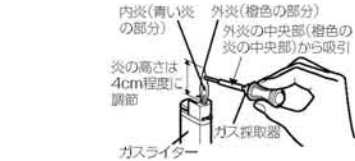
- ① ガスライターを点火し、炎の高さを約4cmに調整する。

おねがい

- ② 点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端を炎の外炎の中央部へ持っていく。
- ③ 容器の圧縮をゆっくり（約3秒程度）ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引する。

おねがい

長時間加熱すると、ガス採取器が破損することがありますので注意してください。



- ④ 点検ガスの採取が終わったら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスライターの炎を消す。

△注意

- 炎から出した直後の採取管は、先端が非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。やけどをする恐れがあります。



- ⑤ 採取管の先端部分の温度が下がるまで（約30秒程度）待つ。
- ⑥ 採取管の先端部分を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり（約3秒程度）注入する。



△警告

採取したガスは、警報器の点検以外には使用しないでください。直接吸引するとCO中毒を起こす恐れがあります。

- ⑦ ガス警報ランプ（赤）が点滅し、ガス警報音（「ウーウービッピッピッ」 ガスがもれていませんか）が鳴り、CO警報ランプ（黄）が点滅し、CO警報音（「ウーウービッポッピッポッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください）が鳴ります。吹き掛けのタイミングにより、ガス警報とCO警報の順番が逆になったり、交互に鳴る場合があります。



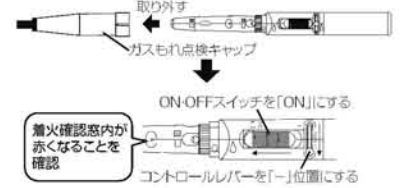
- ⑧ ガスがなくなると、ガス警報ランプ（赤）とCO警報ランプ（黄）が消灯します。

〈火災・CO・ガスもれ警報点検治具を用いて点検する場合〉

〈ご注意〉

この点検治具による火災警報確認は行えません。

- ① ガスもれ点検キャップを本体から取り外す。
- ② コントロールレバーを「-」の位置に移動する。



- ③ ON・OFF スwitchを前方にゆっくり押し上げ、「ON」の位置に移動する。

※ 着火確認窓より着火の確認をしてください。着火すると着火確認窓内が赤くなります。（もし、着火しなかった場合は、もう一度上記の操作を行ってください。）

- ※ カチッと音がするまでしっかりと押し上げてください。
- ④ 本体の先端を警報器のガス検知部付近に近づけ、約2秒程度ガスを吹きかける。
※ 約10秒以上ガスを吹きかけないでください。本体および警報器を破壊・損傷する恐れがあります。



△警告

点検治具より吹き出されるガスは、警報器の点検以外には使用しないでください。直接吸引するとCO中毒を起こす恐れがあります。

△注意

着火使用時には先端の樹脂部分は熱くなっています。絶対に触らないでください。やけどをする恐れがあります。

- ⑤ ON・OFF スwitchを離す。
※ ガスが止まっていることを確認してください。
- ⑥ ガス警報ランプ（赤）が点滅し、ガス警報音（「ウーウービッピッピッ」 ガスがもれていませんか）が鳴り、CO警報ランプ（黄）が点滅し、CO警報音（「ウーウービッポッピッポッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください）が鳴ります。吹き掛けのタイミングにより、ガス警報とCO警報の順番が逆になったり、交互に鳴る場合があります。



- ⑦ ガスがなくなると、ガス警報ランプ（赤）とCO警報ランプ（黄）が消灯します。